

# 津波の危険から身を守ろう

## 津波から命を守る対応チャート

津波から身を守るには「逃げる」しかありません。チャートに従って、自分の命を守るため早めに避難しましょう。



## 津波に対する日頃の備え

### 1 家族会議や避難訓練を

津波が発生したとき、どこに避難し、どう連絡を取り合うのか、家族で事前に話し合っておきましょう。指定の避難場所の位置、そこに到達するためのルートは複数確保できるのかなども共通認識をもっておきましょう。地域の防災訓練に家族で参加し、避難にかかる時間などを確認しておきましょう。



### 2 ハザードマップを確認する

町で配布しているハザードマップには、海拔30m以下の地域や避難所を示してあります。自宅周辺の状況を確認しておきましょう。ただし、実際の災害発生箇所が必ずしもハザードマップの想定と一致するとは限りません。



### 3 避難に備えて非常持出品の準備を

避難時にすぐ持ち出せるように、非常持出品をリュックサックなどにまとめておきましょう。貯金通帳などの貴重品もできる範囲で一緒にしておけば、いざというときあわてて取りに戻らずに済みます。



## 東日本大震災で役立った避難のための三原則

- 原則1 「想定にとられるな」**  
相手は自然、その想定を超える事態も当然あり得ます。
- 原則2 「最善を尽くせ」**  
「ここまで来ればもう大丈夫だろう」ではなく、そのときできる最善の対応行動をとりましょう。
- 原則3 「率先避難者たれ」**  
まず自分が率先して避難しましょう。その姿を見て、ほかの人も避難し、結果的に多くの人を救うことにつながります。

## 津波から身を守る心得10か条

### 1 小さな揺れでも油断禁物！

小さな揺れでも大津波のおそれがあるので気をつけましょう。



### 6 満潮時は要注意！

満潮時は水位が高くなり、津波がより高くなるので被害が大きくなります。



### 2 より遠く、より高い場所へ避難する！

海岸で揺れを感じたら「より遠く」「より高い」場所へ避難しましょう。



### 7 正しい情報をすぐ入手する！

防災行政無線やテレビ・ラジオなどで正しい情報をすみやかに入手しましょう。



### 3 津波の速さは想像以上！

早いときには、揺れから数分で津波が押し寄せます。揺れを感じたら、直ちに避難しましょう。



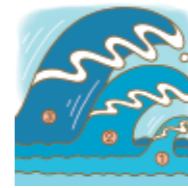
### 8 河川に近づかない

津波は川をさかのぼりますので、河川には近づかないようにしましょう。



### 4 津波はくり返し押し寄せる！

津波は2波、3波と何度も襲ってきます。第1波より2波目、3波目に大津波がくることもあります。



### 9 海岸に近づかない！

注意報・警報が解除されるまでは、絶対に海岸に近づかないようにしましょう。



### 5 津波の前に潮が引くとは限らない！

地震の起こり方や海岸の形によっては、津波の前に「引き潮」が起こらない場合もあるので注意しましょう。



### 10 家族へ行く先を伝える！

海に遊びや釣りに行くときには、家族へ行く先を伝えておきましょう。



## 南海トラフ巨大地震による八丈町の津波被害想定

平成25年5月、東京都は国が公表した南海トラフ巨大地震のデータをもとに、「南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定」を発表しました。八丈島の場合、島全体の最大津波高は八重根港・八重根漁港の18.07m。また、最大津波高到達時間(各ケースのうち最短のもの)を示していますが、実際には最大津波高が到達するよりも早く津波が到達するおそれがあることに十分注意が必要です。

### 南海トラフ巨大地震による最大津波高及び到達時間

港名称	最大津波高	最大津波高到達時間(最短ケース)
神湊漁港	10.90m	22.5分～
神湊港	10.08m	
洞輪沢漁港	9.56m	
中之郷漁港	10.88m	
八重根港・八重根漁港	18.07m	
ナズマド漁港	5.31m	
出鼻漁港	5.34m	